



とやま、祭り彩時季【三】

えびす信仰 天神信仰 写真・文／木原盛夫

とやま、祭り彩時季【三】

えびす信仰 天神信仰 写真・文／本原盛夫

CONTENTS

- 富山のえびす様信仰・・・・・・・・・・ 4 P
・氷見市小杉の恵比須祭り・芦崎えびす祭り・四方えびす祭り・吉原恵比須祭り・生地えびす祭り・生地たいまつ祭り・魚津たてもん祭り・調建のえびす様渡し・下立のおーべっさま迎え・ボンボコ舞

- 富山の天神信仰・・・・・・・・・・ 5 2 P
・初天神・山町筋の天神様祭・観音寺の大威徳天神祭・於保多神社の鴛替え神事・利屋町の天神祭り・千石町の天神祭り・鉄砲町 白銀後町の天神祭り・伊勢玉神社の柿天神

- ご開帳と慶賀行事・・・・・・・・・・ 9 1 P
・観音寺の菅原道真公の自画像・愛本姫社の英泉の版画・瑞泉寺の太子伝会・景完教寺の16歳聖徳太子孝養像・善徳寺の虫干法会・本方寺の曼荼羅絵図風入れ法要・調建のえびす様渡し・開山堂の慈興上人木造坐像・蓮華寺の十一面観世音菩薩立像・安居



寺の聖観世音菩薩・白山宮の十一面観世音菩薩・十三寺の千手観世音菩薩立像・氣多神社の慶賀祭

【コラム】東福町に残る花街の面影・・ 1 4 1 P

○富山のえびす様信仰

有磯海と書いて（ありそうみ）、または（ありそのうみ）と読む。富山湾西部の旧名だが、古くは富山湾一帯を指す名称でもあったようだ。

富山湾は天然の生け簀と称されるだけあり、氷見の寒ぶり、滑川のホタルイカ他、甘エビ、白エビ、紅ズワイガニ、バイ貝、アオリイカ、クロダイ、ゲンゲなどなど豊富な種類の魚介類が獲れる。

また魚津の蟹気楼や、氷見の富山湾越しに見える雄大な立山連峰など、その風光明媚な景観で2014年には「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が認められた。

この湾に面して点在する漁師町には、豊漁の神様であるえびす様を信仰した伝統行事や祭りが残っている。

5P：新湊漁港での紅ズワイガニの競り。





T03-005

氷見市小杉地区では6月10日と11月20日の年2回、豊漁と海上安全を祈願する恵比須祭りが、菊理媛像石神社（きくりひめかたいしじんじゃ）の境内にあるえびす堂で行われる。菊理媛像石神社は菟田にある垂姫神社の兼務社になっており、祭典は松波宮司が斎行する。

ご神体は木彫彩色のえびす像で、幕末に造られ昭和21年に高岡の本保喜作氏によって塗り替え修繕が行われたそうだ。このえびす像はご開帳されず集落内でも拝んだことのない人も多いが、2017年11月20日の恵比須祭りの時に、宮司、宮総代の了承を得て撮影させていただいた。

11月20日の恵比須祭りは、先に菊理媛像石神社で新嘗祭を斎行してから行われる。通常、新嘗祭は11月23日に行われるので、富山で一番早い新嘗祭かもしれない。

尚、氷見市博物館製作の「氷見の祭りと年中行事」では、えびす堂ではなく魚取（なとり）社、恵比須祭りではなく魚取祭（えびす講）と表記されている。



9P：菊理媛像石神社の境内にある、えびす堂。

10P上：えびす堂での、恵比須祭りの神事。

10P下左：祭壇の上には豊漁を祈願する捕鯨図の絵馬がかかっている。

10P下右：ご神体のえびす像。



10



入善町芦崎地区にある諏訪神社の春祭りは芦崎えびす祭りの名で知られ、大漁と航海安全を祈願する。祭りは約250年前に始まったそうで、4月下旬の土、日曜の2日間かけて行われる。

縁起物の鯛や打ち出の小槌の張り子を飾り、小さな社殿を乗せた屋形船が町内を練り歩く。社殿に安置されるご神体は、彩色された恵比須像だ。

11P：芦崎の入善漁港。12P上：旗や提灯が飾り付けられた諏訪神社。12P下-13P：ご神体のえびす像が、屋形船の上部にある社に移される。

11



14-15P: 紅白に巻かれた棒を担いで、お神輿のように持ち上げられた屋形船。小さな車輪が付けられており曳山のように引かれる。区長さんなど役員の家と、船主の家の前では車輪を外して担ぎ、前後左右に揺らす。そうして一軒一軒から花（祝儀）を買って町を巡行する。



初日は海側の地区を20時頃までまわり、港近くの金比羅神社に屋形船を納める。2日目は諏訪神社で9時からお祓いがあり、9時30分に神輿が巡行する。そして13時より屋形船が金比羅神社を出発して町内をまわる。

15P下が、港近くにある金比羅神社。





富山市四方にある恵比須神社では、7月19日にえびす祭りが行なわれる。

四方神社の宮司が祭主となって、13時半より四方漁港に面した神社で神事が斎行され、ご神体が御船代に移される。若い衆が御船代を担いで50mほど離れた漁港に停泊している漁船に乗せ、東西2ヶ所の漁場で航海安全と豊漁を祈願する。

ご神体を安置した御船代に乗せた漁船が出港すると、大漁旗を掲げた漁船十数隻が後に続き、富山市消防局の消防艇「神通」が放水で華を添える。





16P：大漁旗を揚げた船が並ぶ四方漁港。
17P上下：境内に御船代が安置された恵比須神社と、拜殿での神事。神事は四方神社の宮司が斎行する。
18P：ご神体を移した御船代が港に停泊している漁船まで運ばれる。





- 19P上：祭事に華を添える消防艇の放水。
- 19P下：御船代を乗せた漁船が漁場へ向かう。
- 20P：2ヶ所の漁場で神職が祈祷する。



漁場での祈願が終わると漁船は港に戻り、御船代に安置されていたご神体が本殿に還られる。

神事が全て終わった後、漁港では漁師たちのボートレースが開催される。トーナメント戦で16時頃まで盛り上がる。日が暮れた19時半から流し火、20時から花火大会が催される。

- 21P：ご神体を安置した御船代が神社へ還る。
- 22P上：玉串を奉奠する漁師たち。
- 22P中下：神事の後には、港で漁師たちのボートレースが行なわれる。



22



入善町吉原にある吉原神社でも8月下旬の日曜日に、大漁と航海安全を祈願する恵比須祭りが行われる。北前船を模して造られたという船にご神体に乗せて地区を巡行する。

嘗ては2日間かけてまわったが、今は漁業関係者のところと公民館が中心で一日だけとなった。御旅所では神事後、子供と青年団による「花笠音頭」「ソーラン節」「よさこい」「新川古代神」などの歌舞が奉納される。

23P：吉原神社。

23



24P上下：宮司がご神体（神籬）を、船の上部にある小さな社に移す。この間、青年団が拝殿の周囲に立ち、戸を激しく手で打ち鳴らす。
25P：ご神体が船に納まると木遣りを歌った後、社殿を一周してから鳥居を出る。



鳥居を出た屋形船は、最初にとんの浜に向かう。巡行中も、船を左右に大きく振りながら担ぎ手は木遣りを歌っている。とんの浜までは、10分ほどで到着する。

吉原の漁師は半漁半農だったという。昔は船を砂浜に上げていたそうだが、もう浜はなくテトラポットが置かれている。現在は魚津市の経田の方に船を置いているようだ。

とんの浜でも宮司による修祓、祝詞奏上が行なわれる。神事が終わると担ぎ手が木遣りを歌い、船を担ぎ上げて海岸沿いの水産会社へ向かう。

一、柱起し歌（その一）船がお宮をでるときに歌う

ドットコセドーットコセ フンエー
 ホーラーヨイヤサー エーエーヨイヤナー
 ドナタ様もヨーイヤサー エーエーヨイヤナー
 お頼みまするがヨーイヤサー エーエーヨイヤナー
 ヨーオオエトウナー
 ホーラエーサン 一の間天照オ ヤーエ
 ヨー一の間天照 皇大神宮 ヨーオオエトウナー
 ホーラエーサン 二の間春日のオ ヤーエ
 ヨー二の間春日の 大名神 ヨーオオエトウナー
 ホーラエーサン 三の間八幡のオ ヤーエ
 ヨー三の間八幡の 大ボサツ ヨーオオエトウナー

28P上：とんの浜で祝詞を奏上する宮司。

28P下：水産会社でご祈祷した後は、1区、2区、3区の公民館をまわって神社に入る。

29P：水産会社の前で、子供と青年団が踊りや歌を奉納する。





黒部漁港のある生地でも、7月下旬にえびす祭りがある。西の宮を出発したお神輿が町内をまわり、夕方、御旅所となっている神明社の裏から海岸沿いを巡行して西の宮へ還る。その際、お神輿に随行する形で10隻以上の漁船が海上をパレードする。漁船2隻には、大きなえびす様と大黒様が安置されている。漁港と外洋を繋ぐ水路では子供たちが手作りした灯籠流しが行われ、神輿が還御した頃には洋上花火大会も始まり夏の一大イベントとなっている。

30P：大きなえびす像が漁船に積み込まれる。





- 3 1 P上：大きな大黒様が鎮座した漁船。
3 1 P下：神輿に随行するように海上を漁船がパレードする。
3 2 P：国旗や大漁旗を飾り、ライトアップした漁船。
3 3 P：祭りのフィナーレを飾る花火大会。



生地の大きなえびす様と大黒様は、10月26日～27日未明にかけて行われる生地たいまつ祭りにも登場する。たいまつ祭りは新治神社の秋季例大祭で、かつて暴風で遭難しかけた漁船が新治神社のご神火を目印にして生地浜に生還出来たことに由来する。当日は神社の参道で300とも400ともいわれる松明が燃やされる。その炎の中を巡行してきた神輿が走り抜ける。

この神輿に随行するのが、大型のトラックや軽トラックを屋形船のようにデコレーションした屋台で、2台の大型トラックにはそれぞれえびす様と大黒様が安置される。

尚、芦崎えびす祭り、吉原恵比須祭り、生地えびす祭り、生地たいまつ祭りは新治神社の高倉盛克宮司が斎行する。

35P上下：大型のトラックをデコレーションした屋台。一台にはえびす様、もう一台には大黒様が安置される。





- 3 6 P : 新治神社の境内で燃え上がる松明。
- 3 7 P : 夜明け前、生地にある黒部漁港へ漁に出ていた船が帰って来る。
- 3 8 P : 黒部漁港での競り。

and more...